

夜須支所管内より



## どんだん 打ち解けてきているすず (・ω・)

すず(1歳6ヶ月)

猫を飼いたくて、保護猫のなかで探していたところ出会え飼い主さん宅にきた“すず”。お家に来た当初は、警戒心がとても強くなかなか家族にも打ち解けなかったようです。

そんななかでも少しずつ警戒心が解けていき、寝る時には必ず飼い主さんの寝室にきて一緒に寝るすず。今は寒いのもあってか飼い主さんのお腹の上がお気に入りなんだけど、いつのまにか足元で寝るハメに。

また、家には犬も同居しているんですが、まだ仲よしにはなれていないすず。犬が散歩に行く時は部屋のなかから窓越しにジーッと羨ましそうに見ているそう。それって飼い主さんにばれているらしいですよ！「お腹がすくと、ニャーニャー鳴きながら足にスリスリし始め、かきついてくるのが可愛いがよ」と話してくれている時に、取材時間がお昼ご飯の時間になってしまったこともあり、飼い主さんにスリスリ、私にもスリスリしてきたすずでした(\*ω\*)



地区担当者より



# 香美地区から 今月の気になる人

## 年男・年女

右：吉川 洋充さん(35)  
左： 知南さん(35)

今年卯年！

ご夫婦で卯年の吉川さんにインタビューしてきました！

洋充さん：昨年は、今までは親と分けてやっていたハウスみかんを、自分の経営になった年。少し不安もありながらの初めての収穫で、結果が自分の目標より上回る収穫量・品質ですごく嬉しかった☆

今年、例年通り。ではなく、より良いみかんを作りたいです！！

知南さん：昨年は、1歳になった子を保育園にあずけ始め、仕事や自分の時間が出来て有難い反面、一緒にいない時間が淋しかったり。でも、保育園にあずけ出して先生や周りのお友達と過ごすことで、言葉にはまだならないですけど、私たちにも意思表示をし始めて成長を感じています(\*^^\*)

今年も家族みんなが健康で、楽しく笑顔が多い年になれば。仕事の方も主人をサポートしながら、ともにいいみかんを作りたいです！



## 只今成長真っ盛りの

## 小笠原三姉妹♪

右：心春ちゃん(0)  
真ん中：八重ちゃん(8)  
左：希代ちゃん(6)

物部町から、元気いっぱい可愛い三姉妹をご紹介します(\*▽\*)

長女の八重ちゃんは負けず嫌いで、物作りや折り紙が大好き。大橋小学校・中学校合同で12月10日に開催した「物部っ子Fes!」に向けて、段ボールでガチャガチャを制作した事を話してくれました。でも絵を書くのは苦手と、そこは得意なお友達にお願いしていると私に話してくれながら、心春ちゃんの口にあたっているチャックを気にしてあげたり、少し離れて動いている希代ちゃんを気にしたりと、妹2人を見守る優しい女の子♡

次女の希代ちゃんはおっちょこちょいで、甘えん坊さん。とのことですが、インタビュー中に気分が乗ってきたのか歌いだしたり、とってもチャームな女の子☆♪好きな食べ物はいちごとブドウとトマト。そして妹の心春ちゃんと音の出る知育玩具で遊ぶのも大好きなんだそう。

三女の心春ちゃん、途中で泣き出すかな？と心配していましたが、お父さんに抱っこされている温もりと、近くでお姉ちゃんたちがいる安心感が泣き出すこともなく、うとうと気持ち良さそうに過ごしていました(^^)

物部支所管内より



赤岡支所管内より

## 赤岡町から発信☆

野村 真仁さん(65)

赤岡町にある『とさを商店』を先代から引き継ぎ、その際に店舗を改装し、飲食ブースを設け15年。「昔から手軽で美味しく、自分たちには馴染みのある地域食。でもそれがほかの地域の人からすると変わっている“中日そば”を広めようと、平成20年頃からSNSを使っの宣伝方法を積極的に取り組み、県内外のTV局の情報リサーチにひっきり取材に来てくれ徐々に広がってきたがよ」と店主の野村さんが話してくれました。

SNSを見て、『とさを商店』を訪ねて来るお客さんは、ほとんどが旅行者。なかには、外国人の方もいるそう！！

そんなこともあってか、野村さんの日課は、ラジオで外国語講座を聞くことだそう。フランス・イタリア・ドイツ…どんどん広がり、色んな国の方とコミュニケーションを取れるように準備万端ですね( ^\_- ) ☆

ぜひ、みなさんも香南市の地域食“中日そば”を食べてみてください♪





# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



自分たちで収穫したさつまいもを手に記念撮影。

## 1 地区本部

### 親子で収穫体験 “ちつくとふあ〜む2022”



J A高知県青壮年部土佐香美本部は、親子で農業にふれてもらうと香美市・香南市の小学生を対象に10組限定で募集を行い、小規模(ちつくと)で行う農業体験事業を全2回計画し取り組みました。

1回目は10月23日に行い、青パイアの収穫と、盟友でありナス生産者の方の好意で当初予定にはしていなかったナスの収穫も体験しました。

2回目は11月27日にじゃがいもと、紅はるか、土佐紅、シルクスイーツの3種類のさつまいもの収穫を行いました。

体験に向け部員たちがほ場の管理をしたことで、立派なものが大豊作となりました。

参加者は掘りこたえを楽しみながらも、農業にふれ大変さも体感。自分たちで収穫した作物は、2回ともお土産として持ち帰りました。

後日アンケートで、「自分で収穫した作物を家族や友人にお裾分けできて、喜んでもらえたのが嬉しかった」「苦手な野菜だったが自分で収穫したので食べることができた」などの回答があり、食育にもつながることができました。

## 2 夜須支所管内

### 秋祭りを盛り上げる



販売時には長蛇の列。

香南市夜須町のヤ・シイパークで11月20日、「第20回ヤ・シイ秋まつり」が開催されました。

ここ数年コロナ禍で、香美地区青壮年部夜須支部・女性部同支部は会場への参加は控えてきましたが、今年はいつかりとコロナ対策を取りながら出店をしました。

青壮年部は、9月に播種した大根とカブを2トトラック2台に山盛りになるぐらい収穫し販売。その様子は、イベント会場までひと際目を引いていました。

また、女性部は前日の準備から始まり、イベント当日も朝早くから集まって、つきたてのあん餅・しろ餅を約300パック販売。女性部の餅は美味しいと評判で、販売時間にはすでに長蛇の列ができ、11時には完売してしまいうほどの盛況ぶりです。祭りの盛り上げ役に一役買いました。

好天に恵まれた秋祭りでは、ステージで催し物等も行われ、イベントを楽しもうと訪れた多くの来場者で会場は大いに賑わっていました。

## 3 地区本部

### 海・山・川・里の恵みに感謝



商品、鉄板で焼き美味しい匂いが会場に広がりました。

青壮年部土佐香美本部は11月5日・6日に高知市内の中央公園で開催された「土佐の豊穡祭2022高知市会場」に出店しました。

青壮年部のブースでは、盟友たちが味・焼き方等を試行錯誤し作り出した、こだわりの一品「とさかみ焼きそば」と、今回は盟友が栽培している香美地区産のナスとシシトウを使った「香美のみそ炒め」も販売。女性部香我美支部が作った「みかん餅」も一緒に販売し、用意していた分全てが売り切れ大盛況でした。

## 4 野市支所管内

### 眩い輝き ジュエリー展



輝くジュエリーにうっとりする来場者。

「ジュエリーフェア2022」(ふれあいジュエリー展)が11月10日・11日に野市支所の大ホールで開催され、2日間で360人が来場しました。

会場には友達同士や家族で来場する方が多く、数多く並べられたジュエリーや洋服・時計・バック等に「綺麗やね」「この服どうやる?」と気に入ったものを手にしながら、会話も楽しみながら買い物を大いに堪能しました。また、来場者特典サービスのジュエリークリニックも大好評でした。

## 5 野市支所管内

### 香南ふれあいまつりに参加



販売を行う部員たち。

香南市のいちふれあいセンターで11月23日に開催された、香南ふれあいまつりに、女性部野市支部直販部ふれあいの市が出店。部員たちが栽培した野菜やお寿司・赤飯などの加工品、手作り味噌や花などを販売し、女性部活動のPRと地域内交流を深めました。

当日は生憎の雨にもかかわらず、会場には親子連れなど多くの地域住民が訪れ、屋外の18ブースでのお買い物、ヨガ教室やワークコーナー、パネル展やスタンプリーなど、さまざまなイベントを楽しみました。

## 6 物部支所管内

### 冬至にゆず湯 一物部ゆず出荷最盛期



物部集出荷場 場内の様子。

冬至の日(12月22日)に向けて、物部集出荷場では「物部ゆず」の出荷最盛期を迎えました。

「物部ゆず」は香美市で生産され、出荷量は日本一を誇っています。また生産方法や気候・風土・土壌などの生産地の特性があり産品として社会的評価など確立していることから、令和2年6月に地理的表示(GI)保護制度に登録されています。

出荷最盛期を12月に迎えた「物部ゆず」ですが、昨年の9・10月の少雨量が影響し、前年に比べ60%の出荷量となりました。



# えいのう〜



## ニラ 長い期間収穫を楽しむ

春(3、4月)に種まきし、育苗して、6、7月に植え付け、翌年の春〜秋に収穫します。乾燥する場所以外はどんな土地にも育ち、半日影でも大丈夫です。

【品種】「ミラクルグリーンベルト」(武蔵野種苗園)は鮮緑色で葉幅が広く、肉質は柔らかい品種。「タフボーイ」(八江農芸)は耐寒・耐暑性があり、刈り取り後の再生力の高い品種です。

【育苗】1平方m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100gと堆肥1kgを施し、土よく混ぜておきます。幅70cm程度の苗床を作り、条間15cm、1cm間隔にすじまきします(図1)。発芽後、密生した所を間引き、草丈25cm程度まで育てます。

【畑の準備】植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを全面にまいて、よく耕しておきます。植え付け溝は畝幅60〜70cmとし、深さ20cm、幅15cmに掘り下げます。元肥は植え溝1m当たり化成肥料50g程度、堆肥1kgを施し、土を掛けておきます(図2)。

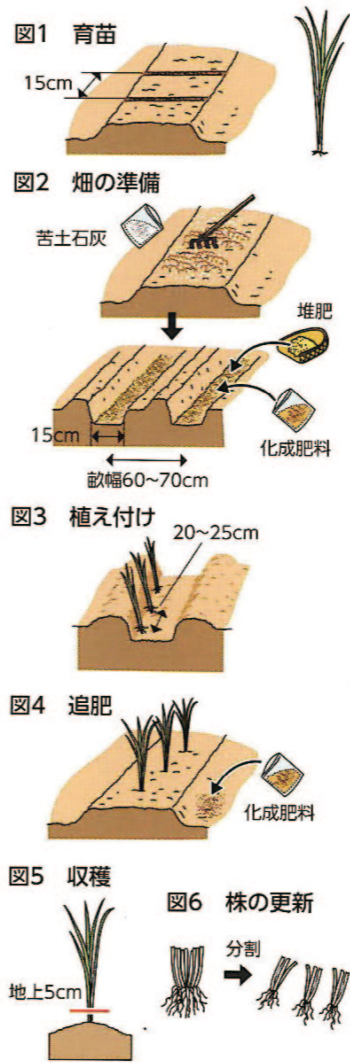
植え付けます(図3)。

【追肥・中耕・とう摘み】植え付けの年は9、10月に月1回追肥をします。1回の追肥量は畝1m当たり化成肥料30g程度とし、この際の中耕を行います(図4)。2年目以降は春先と、収穫後に同量を与えます。なお、植え付けの2年目以降は夏になると、とう立ちするため早めに蕾を摘み取ります。

【病害虫防除】新芽に付きやすいアブラムシには「粘着くん液剤」「ベニカ水溶剤」などの登録農薬で防除します。

【収穫】翌年4月から10月にかけて収穫できます。草丈35cm程度に伸びた頃、地上5cm程度の部分で刈り取り収穫をします(図5)。1年に3、4回収穫できます。

【株の更新】3、4年は同じ畑で栽培できませんが、密生し葉幅が狭くなってきたら、春に株を更新します。株を掘り取り、分割して3芽ずつまとめて植え直します(図6)。



## 温室みかん

〜黄斑病〜

### ●発生とその被害

▼樹勢が弱ると発病が多くなります。肥料不足、あるいはその他の障害のため樹勢が弱ったときひどく発病することが多いです。また、ヤノネカイガラムシが多発すると黄斑病も多発する例が多いです。

▼病原菌は気孔から侵入し、その発育適温は28℃付近です。ハウスミカンで着果過多や過乾燥のため樹勢が弱り激発する例があります。

▼黄斑型の病斑は、葉裏にでて、最初はごく小さいので見逃すことが多いですが、太陽にすかして見ると周囲が黄色いので早く見つけることができます。

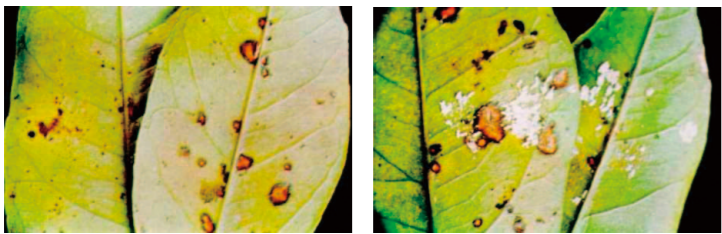
▼黄斑病の特徴は、発病時期が遅いことで、露地で当年の新葉には8月頃からはじめて黄斑型の病斑がみられます。褐色小円星型病斑は新葉にみられることはまれで、前年または前々年の古い葉にでることが多いです。

### ●防除方法とポイント

▼樹勢を旺盛に保ち、とくにヤノネカイガラムシが多発しているときはその防除を徹底することが大切です。

▼落葉した罹病葉はかき集めて土中に埋めるか焼却をします。

▼夏季剪定を行なうハウスミカンでは、



病斑の拡大:黄斑型(左)と褐色小円星型(右)の病斑

ヤノネカイガラムシが多発するとひどく発病してくる

剪定後発芽する夏葉に対する防除を行います。

▼黄斑病に対する防除効果の判定は、他の病気と違って特に注意が必要です。その理由は潜伏期間が非常に長いこととで、特に9か月間も潜伏する場合は、6月に薬剤を散布しても、その効果は翌年の3月頃でないとはつきり分からないが、潜伏期間が2か月くらいのは、8月頃から後ならば効果を判定することができます。

## ナス

1月の管理

かん水・温度管理、病害虫防除の徹底により、樹勢維持に努めます。

### 整枝・摘葉・光環境

一芽切り返しを基本に、下部のふところにある側枝や芽の影になる部分は重点的に摘葉し、光が届くようにします。

赤果・青べた果を発生させないよう、二重内張りにはなるだけ開けます。

### かん水・追肥

地温の低下や夜間の多湿を防ぐため、かん水は晴天の午前中を基本とします。冬場は換気量・蒸散量も少ないので、土壌が過湿とならないよう注意します。

追肥は1ヶ月当たりチッソ成分で3〜5kg/10aを目安に施用します。

### 温度管理

最低実温12℃以上に保ち、入口天窓等の気密性を高め保温に努めます。午前中の換気は、最低3回位に分けて徐々に行います。

### 苦土欠乏症

乾燥・過湿による根傷み、カリ過剰、低温等の要因により発生しやすくなります。

苦土欠乏症が心配される場合は、葉面マグ100〜200倍などを月3〜4回を目安に葉面散布をします。

### 病害虫防除

すすかび病・黒枯病を重点的に防除し、樹勢低下を防ぎます。



(すすかび病)

(黒枯病)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

「ご当地グルメ」塩焼きそばイベントで食べました。次は「香南塩だれ」を買ってニラをどっさり入れて家で作ってみたいです。ニラが歯にはさまると言う主人には小さめに切って!! 「ローストビーフ」のレシピ、お正月用に取引置きします。

(香美市土佐山田町・70歳)

「香南塩だれ」すぐ買いに行きます。

(香南市野市町・78歳)

いため物には、ニラを入れて調理しています。塩だれ使いたいと思います。

(香美市土佐山田町・82歳)

お料理のレシピが多くのおついでうれしかったです。

(香南市野市町・79歳)

▼11月号の特集②「ご当地グルメ」で、香美地区の香南市が紹介されました。ニラの緑とページの黄色の鮮やかさが目にパインとはいつてきましたね☆「香南塩だれ」を買って作るのことが、後はどんなお料理にアレンジして使われましたか？お正月にご家族が集まって「ローストビーフ」を食べられるの、うか？おいしい物を食べながらだと一段と会話も弾みますね♪

毎回読みやすく、写真も見ごたえ充分でページをめくるのが楽しみです。12月号待っています。

(香美市土佐山田町・78歳)

いつも楽しみに見えています。写真だけでも色きれいで何回も見ます。

(香美市土佐山田町・81歳)

▼ありがとうございます。私も眼でも楽しんで頂けるような写真を撮り、お届け出来るように心がけていますが、実際はまだまだ……。でも、気持ちは一杯込めています!!!

来年のカレンダーといっしょに11月号こうぐりが届きました。ありがとうございます。早いですね。収束しないコロナ。今年は、2年・3年ぶりに色々な所でイベント・行事がおこなわれました。物価高・インフルエンザ・コロナ同時流行。色々不安なことばかりですが、これからは前向きに生きていきたいですね。

(香南市赤岡町・64歳)

▼本当に1年が経つのが早く感じますね。コロナも収束に向かっているかと思えば、変異株でなかなか収束までにはならず。色々な物の値段も高騰し、家のお財布も大打撃。そのような中でも、お便りに書いて送って下さったように前向きに、ひとり抱え込まず、不安なこと、楽しいこともみんな分ち合えたいなと想います。

2023年がどのような1年になるか、楽しみです。



## \* 地区担当者のつぶやき \*

皆さんはどのようにお正月を過ごされましたか？私は、毎年寝正月です!! 除夜の鐘をつきに行き、新年を迎えたいと思いがら、結局ぬくい部屋でゴロゴロととってしまっています(へへ)

今回の広報誌は新年号ということで、めでたい写真を掲載させていただきます♪

- 1 女性部土佐山田支部の活動に行った時に撮りました、土佐の伝統料理『鯛の蒸し』正月・婚礼・お祝い事などの“おきやく”でふるまわれていた料理☆
- 2 かがやき組織の会員さんが集まり、折り紙で作った干支色紙飾り。とっても可愛い♪



2023年、本年もJA高知県香美地区をよろしく願いいたします。

【連絡先】 高知県農業協同組合 香美地区本部 〒781-5295 香南市野市町西野2704-2 TEL.0887-56-0121

香美営農経済センター 56-2372

野市支所 56-0921

香北支所 59-2321

吉川支所 55-2117

夜須支所 55-2155

物部支所

土佐山田支所

赤岡支所

香我美支所

58-3105

53-2155

55-2151

55-3135

特産センター 56-0061

農機センター 53-4221

JA共済高知中央サービスセンター 088-821-6015

JA葬祭会館「ルミエールとさかみ」56-5911 (24時間対応)

車輛センター 56-0314

LPガスセンター 53-4353